



環境省
エコアクション21
認証番号0002884

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度

対象期間：2023年6月1日～2024年5月31日

対象範囲：全組織

第16版 2024年8月1日発行
2024年9月3日更新



山武設備株式会社

〒424-0863 静岡県静岡市清水区船越南町 240-1

[TEL] 054-351-2551

[FAX] 054-351-2567

目 次

1. 組織の概要、社是、事業活動の概要	1
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営目標	5
4. 環境経営計画	7
5. 実施体制	9
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	10
7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価	16
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	21
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	22

1. 組織の概要、社是、事業活動の概要

- ・事業所名及び代表者氏名 山武設備株式会社
代表取締役 青木 茂篤
- ・所在地 本 社 静岡市清水区船越南町 240-1
船越倉庫 静岡市清水区木の下町 105
吉川倉庫 静岡市清水区吉川 780
庵原資材置場 静岡市清水区原 38-1
日本平資材置場 静岡市清水区草薙 427-16
- ・環境管理責任者氏名 平井 達哉（環境管理責任者・常務取締役）
及び担当者連絡先 望月 克晃（事務局）
TEL : 054-351-2551
FAX : 054-351-2567
Mail : info @ yamatake-setsubi.co.jp
- ・建設業許可 静岡県知事許可（特-3）第 2932 号
管、土木、とび・土工、水道施設、舗装 工事業
- ・営業許可・指定 静岡市指定給水装置工事事業者 第 215 号
静岡市下水道排水設備指定工事店 第 242 号
静岡ガス(株)指定工事店認可 第 20326 号
- ・法人設立年月日 昭和 50 年 6 月 6 日



社 是「真心と技術」

・事業活動の内容

上水道・工業用水道本管布設工事
下水道管布設工事
給排水衛生設備工事、消防設備工事
産業廃棄物収集運搬業

・事業の規模

2023年度（2023年6月～2024年5月）

年間売上高	57,223 万円(税抜)
工事件数	516 件
従業員数	23 人
資本金	2,000 万円
本社社屋（延床面積,敷地面積）	264 m ² , 396 m ²
船越倉庫（延床面積,敷地面積）	250 m ² , 825 m ²
吉川倉庫（延床面積,敷地面積）	330 m ² , 706 m ²
庵原資材置場（敷地面積）	1240 m ²
日本平資材置場（敷地面積）	495 m ²

・産業廃棄物収集運搬業許可	静岡県 許可番号：第 02201081879 号 許可年月日：令和 3 年 12 月 26 日 有効年月日：令和 8 年 12 月 25 日
・事業の区分	収集運搬（積替え及び保管行為を除く）
・産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず
・運搬車両の種類と台数	2t ダンプ（1 台）、3t ダンプ（10 台） 4t ダンプ（2 台）
・収集運搬量・売上高	受託した産業廃棄物収集運搬量 0 t 収集運搬売上高 0 円
・廃棄物処理料金	収集運搬料金については、種類、量、距離により 計算見積致します
・有資格者	土木施工管理技士 1 級（12 名） 2 級（7 名） 管工事施工管理技士 1 級（7 名） 2 級（4 名） 舗装施工管理技術者 1 級（2 名） 2 級（2 名） 配管基幹技能者 （8 名） 配管技能士 1 級（8 名） 2 級（9 名） 水道施設管理技士 2 級（1 名） 3 級（3 名） 建設機械施工技士 2 級（2 名） 建設業経理事務士 2 級（3 名） 給水装置工事主任技術者 （13 名） 下水道排水設備工事責任技術者（14 名） 消防設備士 （5 名） 浄化槽設備士（1 名） JUIDA 認定（無人航空機操縦技能者）（4 名）

2. 環境経営方針

基本理念

山武設備株式会社は、当社の事業活動において自然環境の保全と維持及び経営と環境の両面において継続的な改善に努め、さらに高い目標に向かって持続可能な次世代に残るより良い地球環境づくりに、社員一丸となって貢献していきます。

基本方針

1. 事業所及び現場で使用する電気、燃料、水の使用量削減に努め、CO₂総排出量の削減に取り組みます。
2. 現場で発生した産業廃棄物、事業所で発生する資源ゴミについて分別・再資源化に努め、廃棄物総排出量の削減に取り組みます。
3. 環境関連法規等の遵守に努めます。
4. グリーン商品を積極的に購入します。
5. 社員及び協力会社に環境経営方針を周知徹底し、環境保全に対する教育活動を定期的に行い、自己啓発を高めより一層邁進して行きます。
6. 資材倉庫に隣接する公園の清掃活動を実施して周辺の環境美化に寄与します。
7. 上下水道の漏水復旧を迅速に行い、住民の生活及び環境保全に努めます。
8. ライフラインの更新や維持を通じて上水道の漏水率を低減し、環境負荷の抑制に貢献していきます。
9. 静岡市内における上水道老朽管更新 2000mを目標と掲げ、発注工事を受注できるよう会社総合力を高め、品質の高いインフラ整備に努めていきます。

制定日 2007年9月1日

改定日 2021年6月1日

山武設備株式会社

代表取締役 青木 茂篤

3. 環境経営目標

年度		基準	2021年	2022年	2023年	2024年
目標削減率		100%	97.5%	97.0%	96.5%	96.0%
1. 二酸化炭素	kg-CO2/年	90,763	88,494	88,040	87,586	87,132
電力	kWh/年	23,898	23,779	23,659	23,540	23,420
ガソリン	L/年	10,784	10,514	10,460	10,407	10,353
軽油	L/年	22,123	21,570	21,459	21,349	21,238
都市ガス	Nm ³ /年	18	17.6	17.5	17.4	17.3
2. 廃棄物	kg/年	5,559	4,517	4,494	5,531	5,503
産業廃棄物	kg/年	5,503	3,995	3,974	5,028	5,002
一般廃棄物	kg/年	506	523	520	503	501
3. 総排水量	m ³ /年	165	165	165	165	165
4. 水使用量	m ³ /年	252	252	252	252	252
5. グリーン購入	%	76	76	76	76	76
6. 地域貢献活動	回	24	24	24	24	24
7. 上水道工事延長	m	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

※基準について(1・3・4)は2014年から2016年までの実績平均値

(2)廃棄物は2023年より2020年から2022年までの実績平均値

※目標の基準に利用する電気事業者別二酸化炭素排出係数

0.426 (kg-CO2/kWh) 「R1 中部電力ミライズ株式会社」(調整後係数)

※電力の基準は2018年から2020年までの実績平均値

1) 二酸化炭素排出量

排出量で毎年基準比 0.5%の削減を行い 4 年間で基準比 2%の削減を目標とする。

※基準：2014 年から 2016 年までの平均値

※2017～2020 年の 4 年間で 2%の削減を実施。年 0.5%の削減を継続中

個別目標の電力については 2018 年から 2020 年までの平均値を基準とし、2021 年より毎年基準比 0.5%の削減を行う。

2) 廃棄物排出量

排出量で毎年基準比 0.5%の削減を目標とする。

※基準：2014 年から 2016 年までの平均値（2022 年まで）

※基準：2020 年から 2022 年までの平均値（2023 年より）

※工事内容に大きく依存するためコンクリート塊、As・Co 塊、建設汚泥については数量の把握のみとし目標からは除外する

工事で排出された廃棄物に関して可能な限りの再資源化と適切な管理を行う。

3) 総排水量

総排水量においては生活用に限られており、これ以上の削減は難しいので現状維持を目標とする。現状維持を目標とするが節水を心がけ、排水量を減らすよう努力する。

※基準：2014 年から 2016 年までの平均値

4) 水使用量

水使用量においては大部分が生活用等に限られており、これ以上の削減は難しいので現状維持を目標とする。現状維持を目標とするが節水を心がけ、雨水を利用するなど少しでも使用量を減らすよう努力する。

※基準：2014 年から 2016 年までの平均値

5) グリーン購入

以前よりグリーン商品を積極的に購入しており、これ以上グリーン商品の品目比率を高める事は非常に困難の為、現状維持を目標とする。現状維持を目標としているが、今後もグリーン商品の購入や、さらにグリーン商品を採用できないか検討を行う。

※基準：2007 年から 2016 年までの平均値

6) 地域貢献活動

2007 年 9 月より会社近隣の公園の清掃美化活動を月 2 回実施してきた。

今後もこの活動を継続的に実施し、月 2 回（年 24 回）地域の清掃活動を目標とする。その他必要に応じて実施する。

7) 上水道工事延長

静岡市内の上水道工事を 2,000m 行うことを目標とする。

※参考：2017 年から 2019 年までの平均は 1,898m

4. 環境経営計画

新型コロナウイルスは5類に移行したが感染力が非常に強い為、活動に関しては感染症対策に十分留意しながら行う。(※に関しては感染症対策留意部分)

● 二酸化炭素排出量の削減

[1] 電気使用量の削減

- (1) エアコン温度の適正管理をする。
(夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃)
(夏場は熱中症にならないよう温度だけでなく湿度にも注意する)
(※換気のため一部窓を開放している事から温度管理を適切に行う)
- (2) 定期的に温度を確認し、エアコンの不必要な利用を抑える。
- (3) 冷暖房の温度ムラを攪拌する事により、空調効率を向上させる。
- (4) 冷暖房の効率を高めるため窓に断熱フィルムを貼り、必要に応じてブラインドを閉める。
(※効率が低下するが、定期的な換気や一部窓を開けて作業を行う)
- (5) 必要な範囲の冷暖房の効率を高めるため、スクリーンカーテンを利用する。
- (6) 照明を休憩、外出時に消灯する。
- (7) 長時間使用しないパソコンの電源を切る。
- (8) 普段利用しない機器の電源を切り、待機電力を削減する。
- (9) エアコンやパソコンなど、電力効率が良い機器を採用する。
- (10) レイアウトの見直しを行い、フロアを統一するなどして照明、冷暖房の使用量を抑制する。(※社員間の距離を離す為、感染状況に応じてフロアを分離する)
- (11) ディスプレイの輝度を抑える。
- (12) エアコンやパソコンの自動電源OFFを設定し、消し忘れ時の無駄な消費を抑える。

[2] 化石燃料の削減

- (1) エコドライブを徹底する。(空吹かしをしない、適正回転数の運転など)
- (2) 積載量を遵守する。
- (3) 定期的整備の実施を行い、燃料効率の悪化防止に努める。
- (4) 燃費を確認しエコドライブの効果確認、車両状態の把握に利用する。
- (5) 徒歩通勤、自転車通勤、公共交通機関の利用を推奨する。
- (6) アイドリングストップを実施する。
- (7) 車両点検簿にアイドリングストップ実施を記入する。
- (8) 現場事務所に車両を置いて、事務所との往復を乗り合いで移動する。
(※乗り合いで移動する際はマスクの着用、窓を開けるなどの対策を行う)
- (9) 開発した燃費管理ソフトの更新、利用状況を確認する。
- (10) 効率的な工事を行い、無駄な燃料を使用しない。
- (11) 重機に関して無駄な燃料を使用しないよう徹底する。

● 廃棄物排出量の削減

[1] 一般廃棄物の削減

- (1) 瓶、カン、ペットボトルの分別を徹底しリサイクルに出す。
- (2) 書籍、新聞、コピー用紙などは古紙再生事業所に搬入し、再生紙のリサイクルに努める。

- (3) 用紙は種類によって普通紙、厚紙などの分別をしっかりと行う。
- (4) 使用済みの封筒を再利用する。
- (5) 積極的に裏紙を利用し、可能な限り両面印刷をする。
- (6) 極力データ化を行いパソコン上で閲覧する。
- (7) 印刷する時は原稿をチェックしミス無くす。
- (8) シュレッダーの代わりにエコロック（機密文書リサイクルシステム）を使用する。

[2] 産業廃棄物の削減

- (1) 分別をしっかりと行い、再利用可能なものは再利用する。
- (2) コンクリート殻、アスファルト殻などは、現場毎により近い中間処理所事業所と契約書・マニフェスト票管理を行い、適正な収集運搬処分によりリサイクルを実施する。
- (3) 粗大ゴミ、ビニール、プラスチック類などは、事業所では産業廃棄物となるので、同様の契約書・マニフェスト票管理を行い、処理事業所に自社運搬する。
- (4) 在庫管理を行い適切な在庫量で、不良在庫を出さない。
- (5) 再資源化が適切に行われているか現場及び資材置場の定期的な巡視と、マニフェスト管理が適切に行われているか指導を行う。

● 水使用量の削減

・水使用量の削減

- (1) 使用に際しては水の垂れ流し状態を無くし、こまめに蛇口を閉める。
（※使用水量が増えるが感染症対策の為、手をこまめにしっかりと洗う）
- (2) 節水コマを使用し水量を抑える。
- (3) 雨水貯留タンクを設置し、使用する水の量を抑える。

● グリーン購入

・グリーン商品購入の取組

商品を購入する場合、積極的にグリーン商品を購入する。

● 地域貢献活動

・公園清掃美化活動の取組

会社近隣の公園の清掃活動を、月に2回全社員および協力業者の方と行う。

● その他の取組

・上水道工事延長の取組

静岡市における上水道本管の布設や布設替え工事を行う。

・上水道漏水復旧の取組

静岡市における上水道本管や各家庭の漏水の復旧を行う。

・社会貢献自動販売機の取組

障害者スポーツを支援するため、船越倉庫に「ふじっぴー寄付型自動販売機」を設置する。

・資格取得の取組

資格の取得を支援する取り組みを行う。

・経営改善の取組

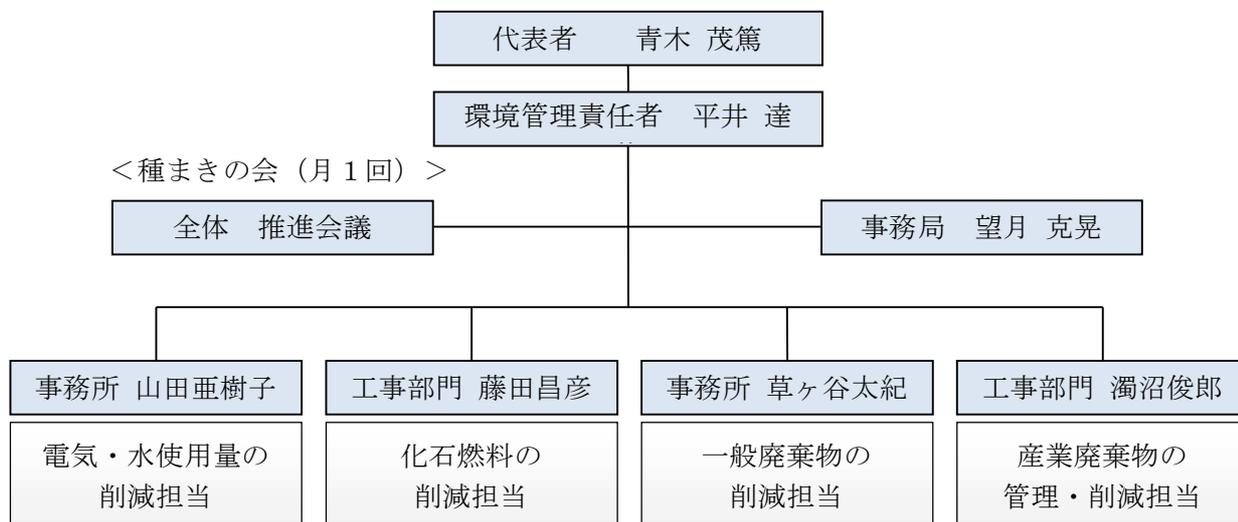
新しい技術や製品を積極的に採用し、無駄をなくし、生産性を高める取り組みを行う。

5. 実施体制

制定日 2007年9月1日

改訂日 2021年6月1日

<組織図>



代表者：青木 茂篤

- 1) 環境経営方針の決定
- 2) 環境管理責任者の任命
- 3) 資源（人材、資金、技術・設備）の準備
- 4) 全体の評価と見直し・指示
- 5) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する収集・運搬課程の取得
- 6) 実施体制の構築

環境管理責任者：平井 達哉

- 1) システムの総責任者としての権限を他の責任に関わらず持つ
- 2) システムの実績を代表者に報告

事務局：望月 克晃

- 1) システム全般の事務管理
- 2) 環境関連文章の管理
- 3) 記録の作成・整理
- 4) グリーン購入、地域貢献活動、その他の取組担当

推進会議：全員参加

- 1) 種まきの会（安全衛生協議会）、工程会議を通じてエコアクションの情報を共有

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

● 二酸化炭素排出量の削減

[1] 電気使用量の削減 担当：山田亜樹子

No.	項目	6月	7月	8月	1/4	9月	10月	11月	2/4	12月	1月	2月	3/4	3月	4月	5月	4/4
1	エアコン温度の適正管理	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	■	5
2	空調使用抑制	●	●	●	5	●	●	●	4	●	●	●	5	●	●	■	5
3	空調効率向上(攪拌)		●		3											■	3
4	空調効率向上(断熱)			●	5											■	5
5	空調効率向上(分離)					●			5							■	5
6	照明の管理						●		4							■	4
7	電源の管理(PC)							●	5							■	5
8	電源の管理									●			5			■	5
9	電力効率化の検討										●		5			■	5
10	レイアウトの見直し											●	5			■	5
11	ディスプレイの省電力													●		■	5
12	消し忘れ時の消費抑制														●	■	5

記号 (○)計画・予定 ●実施済み ▲一部実施 ■見直し・変更、 四半期毎の評価は1～5点

年間を通じて、電気使用量削減の取り組みを実施できました。

しかし、9月13日には真夏日の日数が過去最高の71日目となり、1940年の観測開始以降で過去最多を更新するなど、異常な暑さが続きました。さらに、9月28日には最高気温が35.0℃となり、統計開始以来最も遅い猛暑日を記録しました。このためエアコンの利用が増加しました。

また、7月7日には本社および船越倉庫の蛍光灯をLED照明に切り替えたことで、照明の消費電力が減少しました。

ただし、取り組みの中で攪拌のための扇風機を切り忘れ、外出時の照明の一部も切り忘れが発生しています。これらは大きな消費ではありませんが、今後は unnecessary 消費に注意したいと思います。



[2] 化石燃料の削減 担当：藤田昌彦

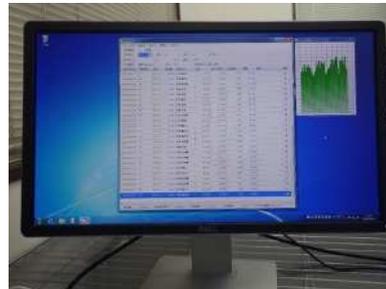
No.	項目	6月	7月	8月	1/4	9月	10月	11月	2/4	12月	1月	2月	3/4	3月	4月	5月	4/4
1	エコドライブの徹底	●			5											■	5
2	積載量の遵守		●		5											■	5
3	定期的整備の実施			●	5											■	5
4	燃費の計測					●			4							■	4
5	通勤の環境配慮						●		5							■	5
6	アイドリングストップ実施							●	5							■	5
7	アイドリングストップ記録									●			5			■	5
8	車両利用の効率化										●		5			■	5
9	燃費管理ソフト											●	5			■	5
10	効率的な工事													●		■	5
11	重機の使用燃料														●	■	3

記号 (○計画・予定 ●実施済み ▲一部実施 ■見直し・変更)、四半期毎の評価は1~5点

年間を通じて、化石燃料削減の取り組みを実施できました。

大口径の水道管の工事を行いました。その際に通常よりも大型の重機を使用したことで、軽油の消費量が増加しました。しかし、水道管の切断作業では従来のエンジンカッターから電気駆動のパワーカッターへの切り替えを行いました。この変更により、排気ガスの発生がなくなり、作業時間も短縮されました。その結果、工事現場でのガソリンの使用量が大幅に減少しました。

また、燃費を計測するために走行距離を報告している際に、一部の記載が抜けていることがありました。3月に現場用のトラックを1台買い替えました。車両は年数が経つと燃費が悪化する傾向があるため、古くなった車両については今後も買い替えを検討していきます。



● 廃棄物排出量の削減

[1] 一般廃棄物の削減 担当：草ヶ谷太紀

No.	項目	6月	7月	8月	1/4	9月	10月	11月	2/4	12月	1月	2月	3/4	3月	4月	5月	4/4
1	リサイクルの確認(飲料)	●			3									●		■	4
2	リサイクルの確認(紙類)		●		5										●	■	5
3	リサイクルの分別(紙類)			●	5											■	5
4	再利用(封筒)					●			5							■	5
5	再利用(裏紙)						●		5			●	3			■	4
6	用紙の削減							●	5					●		■	5
7	ミスプリントの削減									●			5		●	■	4
8	用紙のリサイクル										●		5			■	5

記号 (○計画・予定 ●実施済み ▲一部実施 ■見直し・変更)、 四半期毎の評価は1~5点

年間を通じて、一般廃棄物削減の取り組みを実施できました。

しかし、一部のペットボトルや缶が洗われていないことがありました。

裏紙の再利用では、ホッチキスで止めてある裏紙が原因で紙詰まりが何度か発生しました。

また、複合機を新しくした影響で、プリント時に間違えた場合のキャンセルがうまくいかないことがありましたが、FAX受信をペーパーレスにしたことで、用紙の削減につながりました。



[2] 産業廃棄物の削減 担当：濁沼俊郎

No.	項目	6月	7月	8月	1/4	9月	10月	11月	2/4	12月	1月	2月	3/4	3月	4月	5月	4/4
1	分別と再資源化	●			5	●			5	●			5	●		■	5
2	適正な収集運搬処分(現場)		●		5						●		5			■	5
3	適正な収集運搬処分(事業所)			●	5											■	5
4	在庫管理						●		5			●	5			■	5
5	現場及び資材置場の巡視							●	5						●	■	5

記号 (○計画・予定 ●実施済み ▲一部実施 ■見直し・変更)、 四半期毎の評価は1~5点

年間を通じて、産業廃棄物削減の取り組みを実施できました。

現場や資材置場の巡視でも特に問題がなく、適切に処分ができています。

● 水使用量の削減

・水使用量の削減 担当：山田亜樹子

No.	項目	6月	7月	8月	1/4	9月	10月	11月	2/4	12月	1月	2月	3/4	3月	4月	5月	4/4
1	水の節水	●		●	5		●		5	●		●	5		●	■	5
2	水量の調整		●		5											■	5
3	水の使用量抑制					●			5					●		■	5

記号 (○計画・予定 ●実施済み ▲一部実施 ■見直し・変更)、 四半期毎の評価は1~5点

年間を通じて、水使用量削減の取り組みを実施できました。



● グリーン購入、地域貢献活動、その他の取組 担当：望月克晃

No.	項目	6月	7月	8月	1/4	9月	10月	11月	2/4	12月	1月	2月	3/4	3月	4月	5月	4/4
-	グリーン購入	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	■	5
-	地域貢献活動	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	■	5
-	その他の取組	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	●	5	●	●	■	5

記号 (○計画・予定 ●実施済み ▲一部実施 ■見直し・変更)、 四半期毎の評価は1~5点

年間を通じて、グリーン購入、地域貢献活動、その他の取組を実施できました。

【グリーン購入】

グリーン商品の品目比率は今年度 83%でした。

【地域貢献活動】

会社近隣の公園の清掃活動を合計 28 回行いました。

2023年：18回 (6/15、6/28、7/12、7/26、8/10、8/25、9/13、9/27、10/11、10/25、11/08、11/15、11/22、11/29、12/06、12/13、12/20、12/27)

2024年：10回 (1/10、1/24、2/14、2/28、3/13、3/27、4/10、4/25、5/08、5/22)

【上水道工事延長の取組】

2023年度は合計 2,378mの上水道本管の工事を行いました。

【上水道漏水復旧の取組】

2023年度は合計 239 件の上水道漏水を復旧しました。

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
道路漏水修理	57件	59件	54件	62件	48件
工事破損修理	25件	22件	26件	18件	10件
給水漏水修理	156件	140件	156件	184件	181件
合計	238件	221件	236件	264件	239件



【社会貢献自動販売機の取組】

「ふじっぴー寄付型自動販売機」の設置により下記金額の寄付を行いました。

年間寄付金額：78,946円（2023年6月～2024年5月）

累計寄付金額：858,676円（2013年7月～2024年5月）

【資格取得の取組】

今年度下記の試験に合格し資格者が増えました。

- 1級土木施工管理技士：2名
- 2級管工事施工管理技士：1名
- 1級配管技能士：2名

【経営改善の取組】

- ・高性能で省エネな PC を導入したことで、待ち時間が減り、作業効率が向上しました。
- ・事務所のディスプレイをウルトラワイドディスプレイに変更したことで、より多くの情報を表示できるようになり、生産性が向上しました。
- ・現場事務所の PC をデュアルディスプレイにしたことで、社外でも生産性が向上しました。
- ・パスワード管理ソフトを導入したことで、パスワード入力時間が短縮され、セキュリティも向上しました。
- ・全ての PC に顔認証対応のカメラを導入したことで、Web 会議を利用できるようになり、さらにセキュリティが向上しました。

【災害協定関係の取組】

・災害時における応急復旧活動（珠洲市）

2024年1月1日に、石川県の能登半島で最大震度7の地震が発生しました。石川県では、耐震型水道管の普及率が全国平均より低いため、多くの箇所では水道管が破損し、長期にわたって大規模な断水が発生しました。

静岡市から清水管工事システム協同組合に災害派遣の要請があり、弊社は組合員として珠洲市の水道応急復旧に参加しました。被害が大きく、長期間にわたる復旧活動となるため、約1週間ごとに静岡の組合と交代で復旧活動を行い、2月21日から5月18日まで計7班、延べ11人を派遣しました。



【協賛の取組】

「海と日本プロジェクト スポ GOMI 甲子園 2023 静岡県大会」に協賛をしました。

7. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価

		目標	実績	達成率	評価	取組前比
1. 二酸化炭素	kg-CO2/年	87,586	78,773	111.2%	○	-38.2%
電力	kWh/年	23,540	21,311	110.5%	○	-27.6%
ガソリン	L/年	10,407	5,729	181.7%	○	-65.6%
軽油	L/年	21,349	21,827	97.8%	×	-20.8%
都市ガス	Nm ³ /年	17.4	21.0	82.9%	×	-76.1%
2. 廃棄物	kg/年	5,531	5,272	104.9%	○	-53.7%
産業廃棄物	kg/年	5,028	4,800	104.8%	○	-52.8%
一般廃棄物	kg/年	503	472	106.6%	○	-61.0%
3. 総排水量	m ³ /年	165	117	141.0%	○	-27.8%
4. 水使用量	m ³ /年	252	174	144.8%	○	-56.7%
5. グリーン購入	%	76	83	109.2%	○	—
6. 地域貢献活動	回	24	28	116.7%	○	—
7. 上水道工事延長	m	2,000	2,378	118.9%	○	—

※達成率：目標／実績（グリーン購入、地域貢献活動、上水道工事延長は 実績／目標）

※取組前比：エコアクション取組前（2004～2006年の3年間の実績平均値）と比較しての排出量及び使用量

【売上100万円当たりの達成率】

		基準	目標	実績	達成率	評価
1. 二酸化炭素	kg-CO2/年	90,763	186.75	137.66	135.7%	○
電力	kWh/年	23,898	50.19	37.24	134.8%	○
ガソリン	L/年	10,784	22.19	10.01	221.6%	○
軽油	L/年	22,123	45.52	38.14	119.3%	○
都市ガス	Nm ³ /年	18.0	0.04	0.04	101.0%	○
2. 廃棄物	kg/年	5,559	11.79	9.21	128.0%	○
産業廃棄物	kg/年	5,053	10.72	8.39	127.8%	○
一般廃棄物	kg/年	506	1.07	0.82	130.1%	○

※目標の計算式は“基準×年度削減率／基準売上高”

二酸化炭素目標計算式：90763×0.965/469 = 186.75

※実績の計算式は“年度実績×年度売上高”

二酸化炭素実績計算式：78773/572.23 = 137.66

※年度削減率：96.5%（電力98.5%、廃棄物99.5%）

※売上あたりの達成率で総排水量、水使用量、グリーン購入、地域貢献活動、上水道工事延長は上段の表と同一内容のため省略

年間実績の推移 (2023 年度実績及び前 3 年間実績)

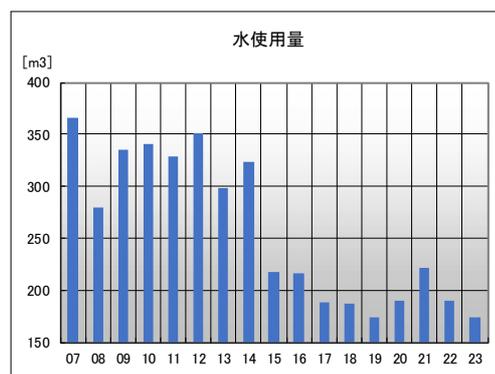
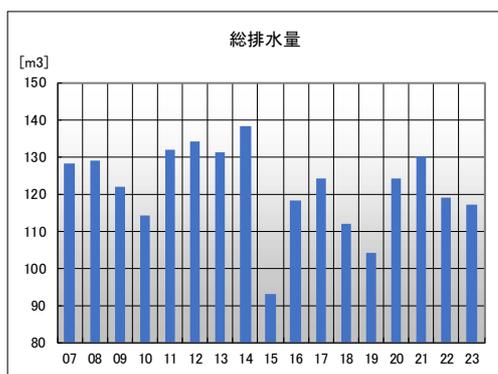
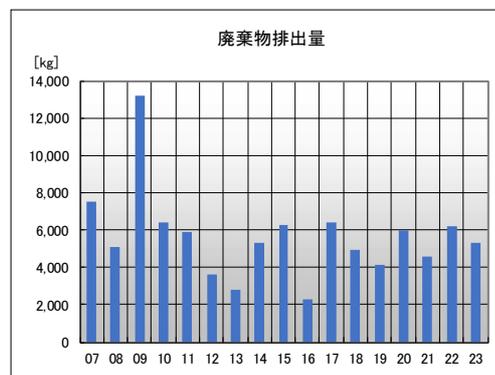
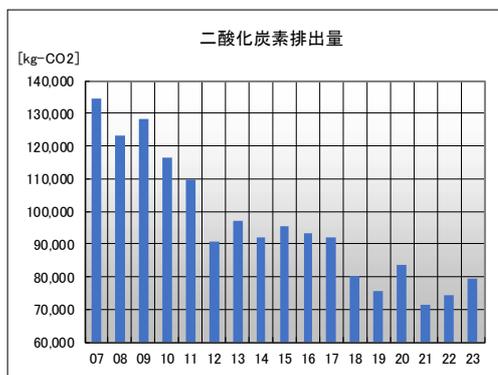
		2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
1. 二酸化炭素	kg-CO2/年	83,495	71,437	74,115	78,773
電力	kWh/年	24,075	23,787	23,825	21,311
ガソリン	L/年	6,387	6,125	7,148	5,729
軽油	L/年	22,557	18,188	18,287	21,827
都市ガス	Nm ³ /年	12	14	11	21
2. 廃棄物	kg/年	5,932	4,590	6,156	5,272
産業廃棄物	kg/年	5,390	4,090	5,680	4,800
一般廃棄物	kg/年	542	500	476	472
3. 総排水量	m ³ /年	124	130	119	117
4. 水使用量	m ³ /年	190	221	190	174
5. グリーン購入	%	83	82	78	83
6. 地域貢献活動	回	25	27	27	28
7. 上水道工事延長	m	2,591	2,823	1,812	2,378

※実績に利用する電気事業者別二酸化炭素排出係数

0.426 (kg-CO2/kWh) 「R1 中部電力ミライズ株式会社」(調整後係数)

※船越倉庫に設置している社会貢献自動販売機の電力については除外する。

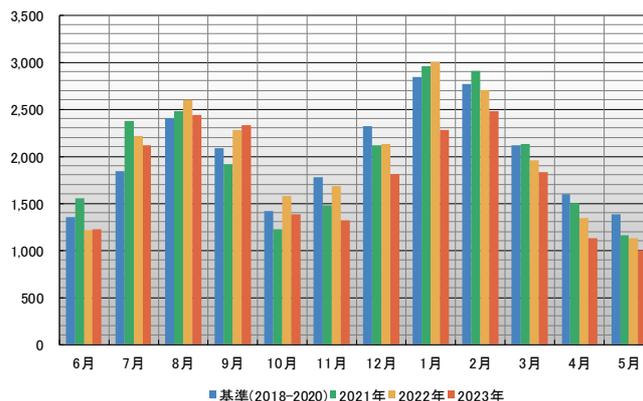
主要な環境負荷の年度毎の実績



● 電力 (kWh)

年	2021	2022	2023
合計	23,787	23,825	21,311
基準比	117.5%	117.6%	105.2%

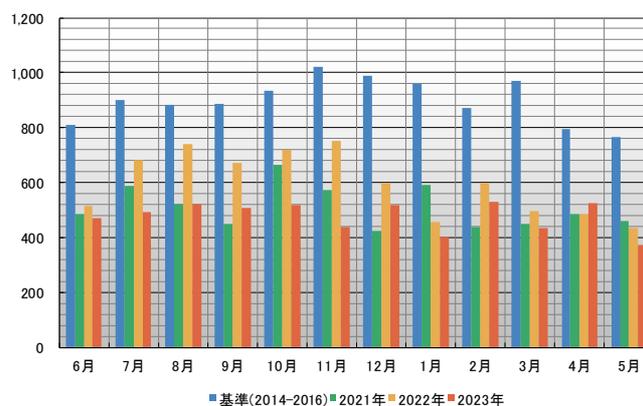
LED 照明導入した事で全体的に使用量が減っている。気温が高かった為、夏場の使用量が増加した。



● ガソリン (L)

年	2021	2022	2023
合計	6,125	7,148	5,729
基準比	56.8%	66.3%	53.1%

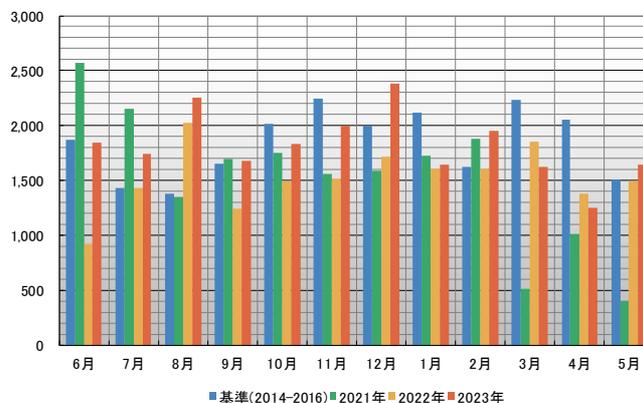
建設現場で使用するガソリンが減った為、年間を通して使用量が減少した。



● 軽油 (L)

年	2021	2022	2023
合計	18,188	18,287	21,827
基準比	82.2%	82.7%	98.7%

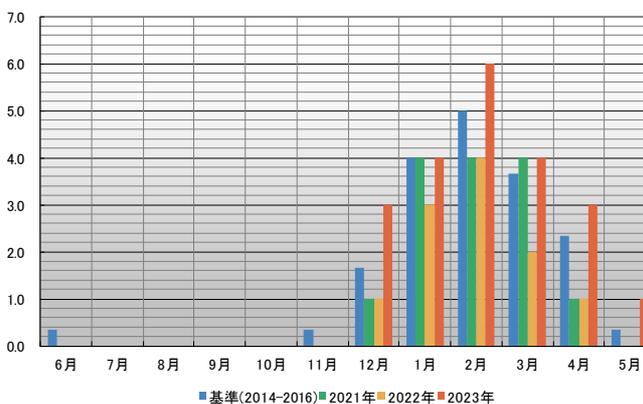
大型の重機を使用した為、全体的に使用量が増えた。年間を通して大きな増減はなかった。



● 都市ガス (Nm3)

年	2021	2022	2023
合計	14	11	21
基準比	77.8%	61.1%	116.7%

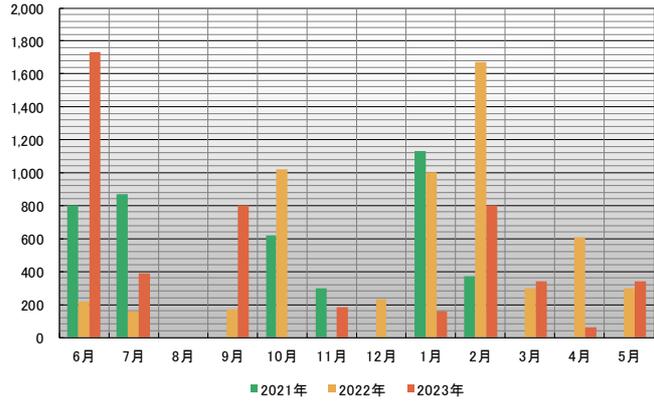
事務所の人数が増えた為、使用量が増加した。



● 産業廃棄物 (kg)

年	2021	2022	2023
合計	4,090	5,680	4,800
基準比	99.8%	138.6%	95.0%

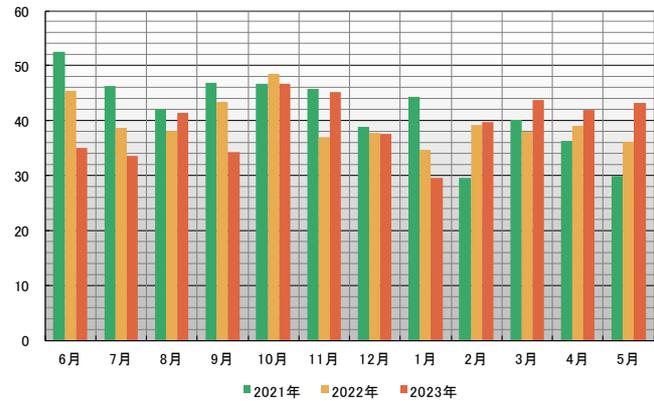
6月に設備工事で多くの産業廃棄物が排出された。



● 一般廃棄物 (kg)

年	2021	2022	2023
合計	500	476	472
基準比	93.2%	88.9%	88.1%

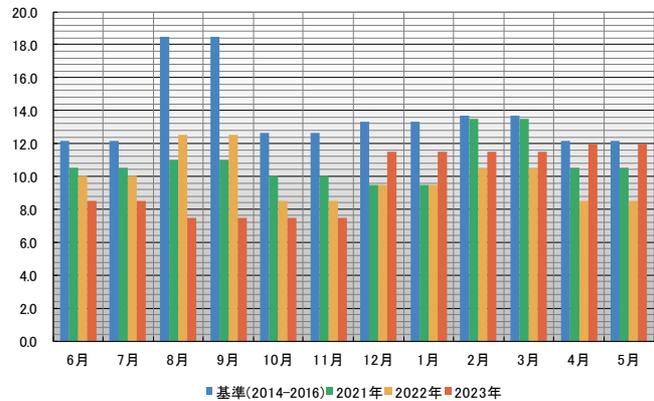
年間を通して大きな増減はなかった。



● 総排水量 (m3)

年	2021	2022	2023
合計	130	119	117
基準比	78.8%	72.1%	70.9%

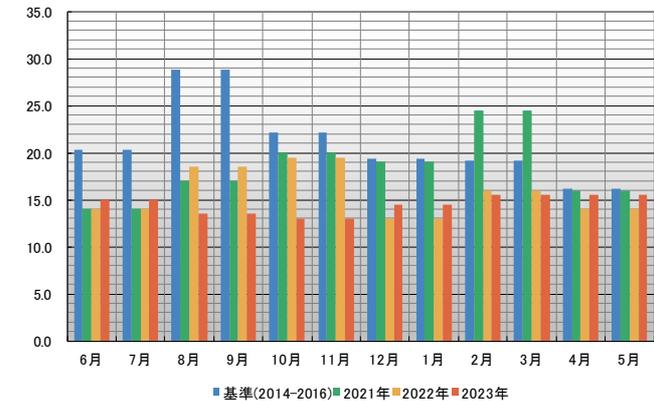
前年度に比べ、前期は減少していたが、後期は排出量が増加した。



● 水使用量 (m3)

年	2021	2022	2023
合計	221	190	174
基準比	87.7%	75.4%	69.0%

前年度に比べ、使用量が減少している。年間を通して大きな増減はなかった。



■ 評価

「二酸化炭素排出量の削減」、「廃棄物排出量の削減」、「総排水量の削減」、「水使用量の削減」、「グリーン購入」、「地域貢献活動」、「上水道工事延長」の7項目すべてにおいて目標を達成しました。なお、売上あたりの原単位でも目標を達成しています。

■ 各項目の評価

1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量の削減目標を達成しました。個別目標については軽油および都市ガスの削減が達成できませんでしたが、その他の電力、ガソリンの項目については目標を達成しました。なお、軽油および都市ガスの削減に関しては売上あたりの原単位では目標を達成しています。

軽油に関しては、通常の工事より大きい口径の水道管布設工事を行ったため、大型の重機を使用しました。そのため、軽油の消費量が増加しました。重機未使用時のアイドリングストップを徹底していますが、大型の重機は特に影響が大きいため、引き続き徹底していきたいと思えます。

都市ガスに関しては、現在事務所の給湯器で冬場に手を洗う時、洗い物のみで使用していません。事務所で働く人数が増えた影響と感染症予防のために手洗いをしっかりと行ったことで、使用量が増加しました。

2) 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量削減の目標を達成しました。引き続き、再資源化と適切な管理を行っていきます。

3) 総排水量の削減

4) 水使用量の削減

目標を達成することができました。なお、前年度に比べて使用量が少し減少しました。生活用に限られており、これ以上の削減は難しいと思われませんが、今後も引き続き節水を心がけます。

5) グリーン購入

目標を達成することができました。今後も積極的にグリーン商品の購入を続けていきます。

6) 地域貢献活動

目標を達成することができました。地元の方々からも活動に対して感謝されており、今後も地域貢献活動を継続していきます。

7) 上水道工事延長

目標を達成することができました。災害発生時に少しでも断水が短くなるよう、水道管の耐震化に取り組んでいきます。

● 次年度の環境経営計画

次年度も今年度と同様の取組を行い、追加事項について検討します。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1) 当社に適用となる主な環境関連法規

遵守確認日：2024年8月1日

遵守確認者：平井 達哉

法規等の名称	規制内容	遵守状況
廃棄物処理法（委託基準の確認）	委託処理契約書、処理業者許可証	遵守
・産業廃棄物業許可	産廃収集運搬業許可・更新	遵守
・マニフェスト交付保管	排出事業者：A, B2, D, E 票 (5年間保存) 収集運搬業者：B1, C2 票 (5年間保存)	遵守
・管理票写しの送付確認	収集運搬・処分から90日、最終処分から180日の期日までに返却の有無を確認	遵守
・交付状況報告	前年度実績（毎年6月30日まで）	遵守
・保管基準	掲示板の表示（縦横60cm以上表示）	遵守
静岡県・静岡市産業廃棄物に関する条例	産廃委託処理先の現地確認（年1回以上）	遵守
リサイクル法（資源の3R促進）	指定副産物（土砂・アス・コン塊）	遵守
再生資源利用省令（解体、土、外構工事）	指定副産物の再生資源利用計画・実施	遵守
指定副産物利用促進省令（+型枠・木工）	指定副産物の再生資源利用計画・実施	遵守
建設リサイクル法（新築及び解体改修工事）	指定副産物の再生資源利用計画・実施	遵守
PCリサイクル法	特定0A機器の廃棄（リサイクル委託）	遵守
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例	事業系一般廃棄物の処理	遵守
騒音・振動規制法（県生活環境保全条例）	特定作業事前届、特定施設の届け出（空調圧縮機3.75kW以上）、基準値遵守	遵守
フロン排出抑制法（回収破壊・漏洩防止）	業務用冷凍機器の簡易点検（四半期1回）	遵守
下水道法（公共下水道への排水）	公共下水道管理者への届出	遵守
河川法（河川への排水）	河川管理者に届出	該当無
浄化槽法（合併処理浄化槽）	設置届出、法定検査（第11条）	該当無
消防法（アセチレンガス等の取扱い）	アセチレンガス：40kg以上、消防署届出	遵守
高圧ガス保安法（高圧ガスボンベ使用）	溶接、熱切断用高圧ガスの保安基準	遵守
労働安全衛生法（石綿障害予防規則）	石綿管の取扱作業	遵守
石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル	労働衛生3管理（作業環境・作業・健康）	遵守

環境関連法規への遵守状況確認結果、違反はありません。

2) 環境関連法規への違反、控訴等の有無

関連当局よりの違反等の指摘、及び利害関係者等の訴訟は、過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し日：2024年 8月 23日

【今年度の取り組み評価】

今年度の取り組みでは、軽油および都市ガスの削減が未達でした。

これは、受注している工事の大型化や資材運搬距離の変化によるものと考えられます。現場環境の変化により影響を受けやすいため目標は達成できませんでしたが、各現場ではさまざまな工夫を凝らし、数値削減に取り組んでいました。

また、能登半島地震における災害復旧支援として、多くの社員が珠洲市で復旧活動に従事しました。これは、水道事業に携わる者として貴重な経験であり、さらなる成長に繋がると思います。

【今後の取り組みについて】

エコアクション 21 の活動を始めて 16 年が経ちました。目標値も厳しくなり、達成も容易ではなくなってきましたが、社員一丸となってさらに厳しく向き合っていきたいと思えます。

異常気象により夏季は酷暑が続き、屋外での作業は厳しくなってきました。現場事務所や休憩所では冷房や製氷機、冷蔵庫を活用しているため、使用電力量は多くなってしまっていますが、作業員の健康を第一に考え、そのうえで無駄を無くすよう呼び掛けていきます。

能登半島沖地震を教訓に、静岡市は水道更新に対する考えを変え、今後の発注計画を見直すとのことでした。我々も珠洲市での災害復旧活動で得た経験を活かし、今まで以上に積極的にライフラインの更新に取り組んでいきます。

山武設備株式会社
代表取締役 青木 茂篤